

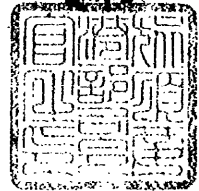
第二班

加東機密第221号

大正4年11月4日



旅順要塞司令部官川島大治郎



海軍少将長島村速雄殿

一 戦時日記

一 陸軍揚陸作業三關日記

右提出

十月分

十月分

老部

老部

0325

戰

時  
日誌

十月分

(揚陸援助關元日誌別冊文)

旅順要港部

0326

十月一日 木曜日

午前八時五分海軍大臣よりたノ電報ヲ受領ス

十月一日付 防備隊<sup>即</sup>編制ニ關シた記要領通改定セラル

一、東京海灣並横須賀軍港佐世保軍港 鎮海軍港基隆港

旅順港並大連灣ノ防備ヲ撤セラル

二、特設砲艦ノ配備ヲ止メラル

三、特設艦船ノ配備スル地点中打狗港ヲ削リ基隆港ヲ加

ラル

四、基隆防備隊ヲ廢セラル

たノ電報ニ基キたノ命令ヲ發シ此ノ旨關東都督並要塞司

令官ニ通牒ス

旅要隊番号ニ二〇號ノ七三

旅順要港部命令

大正四年十月一日

0327

旅順港及大連灣ノ防備ヲ撤去ス

旅順要港部司令官川島 今次郎

前電ノ如ク旅順港及大連灣ノ防備撤セラルヲ以テ先鉄特設望樓ニ関シ參謀長ヲシテ下村軍令部參謀ニ意見ヲ開陳セシム

十月一日付ヲ以テ旅順港及大連灣ノ防備ヲ撤去セラル候ハ先鉄望樓ハ特設ニ存置セラルル事ト被存候然ルニ同望樓元々今日ニ在テハ左程ノ必要ヲ認メサルニテ差支要スレハ急速本部ヨリ派遣シ得ル儀ニ付經費節約上速ニ撤廢セリ可然意見ニ有テ候

午前九時十分海軍大臣ヨリ本日付ヲ以テ改定セシ先戰列部隊ノ編制電報ヲ受領ス

午前九時三十分海軍大臣ヨリ本日附辦天龍旅順要港部所屬

0328

可解ヤ給炭船トシテ佐世保鎮守府所屬ト定メラレタル旨電報ニ接  
シ第謀長ヲシテ通佐世保鎮守府第謀長ニ電照セム

辨天九ハ本日付ヲ以テ現状ノ儘貴府ニ引継グフトス同船ハ  
目下所要ノ島膠州灣方面ヨリ入同船ハ當部ヨリ日用品  
販賣者ヲ便架セヨアルニ依リ貴府級港前當地ニ回航セ  
シメラレタル尚本部所屬艦艇ハ第艦隊ト共ニ膠州灣方  
面ノ作戰ニ從事中ニ是等ノ艦艇ト交通ヲ要スルニ事  
旁同船ハ現下通當地ニ在テ炭水ヲ補充シ戰地當地間  
ヲ往復スルニ御配慮ヲ得ハ好都合ナリ如何  
合方告示ヲ察セム

去九月十九日午後四時松村侍従武官ヲ明石ニ乗遣下セ山東方  
面ノ作戰ニ從事セシ麾下部隊ニ在候艦艦ニ至旨並令  
旨ヲ賜リ尚兩陛下ヨリ同ニ御酒及御煙草御座者ニ御

弟子料ヲ不賜セラル

聖旨

天皇陛下ニ戰陣ニ從事セ艦長以下ノ勤務ヲ若勞ニ思召  
セ現下ノ状況ヲ親ク陳述セヨ

令旨

皇后陛下ニ於カモラハ氣候凡ク思ハズ戰地ニ於ケル艦長  
以下ノ衛生状態ニ際ク御心ヲ注カセヨ各自ノ身体ヲ大切ニセヨ  
右ニ對シ本日司令官ハ同ニ代リテ如ク御礼ノ意ヲ奏上シ  
請ハレタリ

内山侍従武官長宛

今般山東方面ノ作戰ニ從事セ艦下部隊ニ松村侍従武  
官ヲ差遣ハセ候渥カ聖旨ヲ賜ハリ同ニ御下賜品並傷  
病者ニ濟第子料ノ恩賜ヲ厚ク感激ノ至リニ堪ヘス謹テ

0330

御禮申上ル

右御執奏シタ

承順要港部司倉庫川島金次郎

香川皇后宮大夫

今般山東方面ノ作戦ニ從事セシ麾下部隊ニ松村侍從  
武官ヲ差遣ハシ候様ニ令旨ヲ賜リ一同ニ御下賜並  
傷病者ニ御重料ノ恩賜ヲ厚ク感蒙ノ至リニ堪ヘス  
謹ニテ御礼申上奉ル

右言上ラタ

承順要港部司倉庫川島金次郎

當日情報ヲ得

0331

一、芝罘野島より作聲（手取の晴子分）

一、維縣知事より吳觀察使へ報告係ハ二十日、日本

兵五百餘縣入りレカ秩序整然タリ此兵尚西ニ向

テ進マントスルヲ見同地ニ在ル張第五師長ハ之ヲ阻止セ

ントシタリコレ効ナク目下北京政府ノ訓令ヲ待テリ

一、山東鉄道沿線ノ独一人引揚ノ原因ノハ我兵ヲ

モ露口支那兵ヲ怨レモノ如ク支那兵及ヒ巡警等

ハ独一人敗戦ニ定マリト見越レ既ニ昌樂驛ノ獨

一人ノ家屋ニ押入リ掃蕩シ其他モ獨逸人ノ被害

多ク皆支那兵ノ仕業ナリト云フ

三、即墨來信ニテ六日城内ノ商家ハ皆店ヲ閉ゲテ商賣

ヲセス

0332



ニ、艾果野島土佐奈（午後三時十分受領）

一、南巡按式に濟南駐在英國領事ニ日本兵鉄道ヲ自由ニ止ラシ得ルニ成ルヘク兵數ヲ少ナシレ且華兵及日本浪人等入込ミ中立地ヲ蹂躪セザラシメトヲ望ムト詔セリ

二、濟南市民に日本兵入込ハ秩序ヲ保イ商業ニ差支ナクハ可ヤリトアギラメ居レリ

三、張第五師長は日本兵ト戦ハント主張セシカ中央政府ハ忍耐セヨト訓令セリ又濟南ノ大官等會議ノ上勢カヒ日本ノ意ニ妥カス外ナシト決セシメ張ガアツケテ聞カズ張勳及張作霖ニ電報ヲ以テ共ニ日本兵ヲ防カント相結セシバ中央政府大ニ驚キ此際日本兵ニ干ツ出スモノ國家ツモホスモノ府國賊トシテ蒙合スヘト嚴命シ漸ク

四

0333

事ナキヲ得ナリ

三、四 右 一年九時三十分受信

湖南、東、電、同、地、ニ、在、ル、獨、立、銀、行、其、所、有、金、ヲ、支、那、銀、  
行、ニ、預、入、セ、リ、山、東、鉄、道、會、社、其、所、有、車、輛、ヲ、津、浦、  
鉄、道、會、社、ニ、賣、却、又、保、管、ヲ、賴、ミ、モ、皆、拒、絶、セ、リ

當日、左ノ通報ヲ得

一、副、復、甞、一、號

復、甞、令、通、報

旅、順、基、隆、鎮、海、陽、長、崎、佐、世、保、要、塞、ノ、警、急、戰、備、  
ヲ、解、除、セ、ラ、ル

大正三年五月

關、東、都、督

司令官宛

二、通報

0334

大正三年十月一日

要塞司令官

當要塞ハ今日緊急戦備ヲ解除セラル

十月二日 金曜日

午前十一時三十分佐世保鎮守府参謀長ヨリ在込電ニ接ス

谷耕天九今次一回大ハ貴部ニ在テ炭水ヲ補充スルコトシ

第一艦隊第隊長ニ電報ニ呈スリ

午後三時五十分第一艦隊第隊長ヨリ在込電ニ接ス

本日ヨリ八浦ニ中結艦ヲ置カス午自望樓無線電信機不

確實ナルヲ以テ面今内地ニ連絡ハ意圖ハ承順夜

間ハ依々保ヲ經由スルコトヲ知アリタシ

午後二時五十分第一艦隊九入港ス

當日在ノ情報ヲ得

美里野備海軍少佐森(午後六時四十分在)

0335

海南米電昨日我兵張右大像博山ヲ白領ス昨日海南  
警務署長ハ重シ市兵ヲ集メ不日日本兵ノ来リ無慮  
ヲ大能スヘト告グ云也海軍別支隊也

十月三日 土曜日

午後一時四十分第二艦隊集澤長ヨリ左ノ電報ヲ接ス

高塚本作戰中内地港灣砲中ノ外行動區域ハ如何

ヲ問フ末十月六日午前零時ヨリ西部艦隊時ヲ使用ス

當時左ノ情報ヲ得

芝罘野島海澤以佐奈(午後一時十分以後)

一濰縣方面ノ我軍進行動向對シ當地ニ未何等ノ影響

ナシ

二濟南ニ獨逸人家具ヲ賣却シ續上海天津行

0336

ツツアリ同地ノ輿論ハ排日也然ルモ極烈ナシ

西五月末ヨリ墨リ當地ノ電信郵便共ニ不通津板保護ノ  
為秋陣ナリ抑留ニ居ル故ナリ

當日ヲ通報ヲ得

内務部督府通信管理局長ヲ

青島ハ前通報ノ外更ニ此ノハ大出符押ノ用ニ

テガハカト通信ニ居テガハカトガハカト共ニ

上海附近ニ於テ最ニ強勢ニ感應シ其者朝鮮等ニ

ニ酷似スルニ感スルニ其介ノ差違アル疑アリ或ハ上海ニ

ガハカト通信ニ居テガハカトガハカト共ニ

線長ヨリ報告アリナリ

十月四日 日曜日

午前四時半分報入九監當官ヨリ同船四日三時八時

0337

海祭吾等承順着、豫定第三種株炭五百箇、種和炭二百箇、淡水七〇〇人、生野菜三千箇、格載準備アリ、トテ、吉電報ニ接ス

當日左ノ情報ヲ得

芝罘野島海軍支隊祭（午前二時受信）

九月三日迄青島ニ在リ、昨夜當地ニ来テ支那人ノ銃

一租界内村爲ニ大抵焼却シ、且モ四方ト台東鎮ニ其佐ナリ

ニ支那人ヲ招退去セシ、今尚モ力五千ノ程居残り、其内三千ハ

青島ニ支那人劇場内ニテ台東鎮ニアリ

是等ハ皆独乙人ト共ニ台東鎮四方間ノ防衛ニ事及、イ

ルヲ以テ、灰泉、南崗ノ道路修繕ニ従事ス

三、四方ニ在ル塹壕ハ幅約三間、深サ約五尺、其ノ底ハ、二

ツ、ザグレニ松ヲ建テ是ニ鉄條網ヲ張り、アリ、台東鎮アリ

四方ト李村ニ廻ルニ條ノ大直ガテ整土壕ヲ横切ル所ニ  
 道路上ニ取隘ニ自ヤル大田ノ障害物アリ晝間ハ取リ  
 除ケテ通行ヲ許シ夜間ハ取付ケテ通行ヲ杜絶ス  
 四海泊河南側ノ砲臺砲台ハ砲身地上ニ出ツルヲ約一呎砲  
 ト砲ノ間ハ機関銃及小銃ヲ敵ヲ掃射スル設備  
 アリ砲ハ皆小口五ナリ  
 五、果物多ク毛野菜欠乏ス  
 六、膠州即墨市場ハ閉鎖ナリ

十月五日 月曜日

午前十時四十五分量橋九作世係ニ向テ出港ス  
 午前十時五十分神天丸膠州灣ヲ向テ入港シ直ニ淡水糧食  
 一搭載ニ從事ス

0339

午後八時中里海軍司令部係属する電報を受領す  
大連艦隊掃海事業場へ喫水七呎一相商牽引  
力見百噸未満既駛二乃至大隻得見込あり

十月六日 火曜日

昨六日中里海軍司令部係属する電報より大連調査せし  
メ結果を電報ヲ奉セシム

掃海用船一件回答妙法丸(五噸馬力八 最大吃水六  
速力八)十二共同丸(五八噸馬力六 最大吃水七速力八)  
二隻ハ微偏見込アリ

當日左ノ情報ヲ得

芝罘野島海軍司令部係属する電報(午後七時四十分受信)  
昨今滿地多禮記誌意ヲ致し、我軍ノ中傷スル多量ニ具

0340



觀摩使ハ昨日既ニ警案ニ命ジ詔言取締ヲセシツアリ  
濟南未電吾午前三時過山東鉄道貨車五輛天津方  
面ニ向テ脱出シ我々抗議ノ結果曰下天津濟南間ノ中途ニ正  
ドマリ居ル様様ナリ我鉄道占領隊ハ明日濟南ニ着クナ  
者歸リ来ル支那人ノ詰々東鎮ノ東北約三。米突ノ所  
先ブリ其附近ニテ余々所ノ支那墳墓ヲ撤造シ草ヲ植  
ヘ自然ノ如ク見セカケアリト狼奔又ハ地帯ノ仕掛アルナ  
ン

二十日 水曜日

午後六時三十分海軍大臣より本電報ヲ復體ス

皇太后陛下御中御水ノ御體ヲ奉テ膠州方面ノ我出  
征艦隊ニ賜ヘル旨皇太后宮大夫より直牒アリ御乳ハ  
第一艦隊司令長官より奉タ

0341

同日八時三十分海軍次官より電報を受領ス

皇后陛下より御下賜の綬帶に候旨と奉宣り此後保海  
軍病院に十員ヲ病院船八體備せ五員ヲ電死隊へ  
配送方取計リ

當日の情報ヲ得

芝罘野島海軍支隊

一午前一時三十分迄

南南來電

一自下南南急送の獨逸人等ハ北京獨逸公使ト密接ナ  
ル連絡ヲ取リ何等モ同地と和官ノ密ニ相手ニテ直接  
北京・移シ支那政府圧迫ノ手段ヲ取リ居リ  
二北京開カレタル参政員會議ノ進展ナル毎日論議  
三同地新聞場載シ市民ノ利害ノ與ヘリ

0342

三、張勳、共三千及第千師團、砲兵來、嶺上を來り、到着  
し居る

四、蔡儒楷、一、一、共、近々、更迭を説く事實、非ルが如シ

二、午前土曜、オ、カ、欠信

脱出せし債事、徳州ニ止り居り、昨夜、濟南ニ歸リ

三、午前土曜、オ、カ、欠信

一、第五師長、張、ジ、ン、デ、ン、ハ、大兵ヲ擁ニ、ツ、中、立、維持出来セラ、留  
ト、雨、三、時、職ヲ、離、ヒ、シ、モ、タ、許、セ、ス

二、濟南、未、曉、昨夜、我、方、千、四、百、名、濟、南、着、山、東、鉄、道、全、部、占、領

セリ

四、午後九時、手、分、受、信

一、本日、即、墨、ヲ、来、リ、者、ノ、語、我、軍、需、ノ、信用、高、ク、其、力、ハ、  
一、百、元、軍、需、二、枚、ヲ、與、フル、為、メ、初、メ、恐、レ、テ、逃、ゲ、居、リ、其、

州平復、即墨匪ノ食民争ヲ我ニ使ヒントシテヤ、我  
軍ノ惡評受ナク各地ノ市場モ開カレタリ

二、海南來電、海南ノ市民界ハ新聞記者ニ勸カセ我  
兵來ラズ乱暴スルヲ思ヒ且暴徒之ニ來テ掠奪セシト  
テ恐レ城門ヲ閉シ交通遮断ノ準備アリシカ我軍ノ規律  
嚴重ニシテ停車場ヲ占領セシ外電モ侵サセタリ見市中  
は頗ル平穩ナリ

十月八日 木曜日

午前七時、神天丸、膠州灣方面高ク出港ス  
今時海軍省副官より本部副官宛テ電報ヲ受領ス  
南洋諸島ノ占領ガ、先ノ外高カ泰表セシガ方針  
ニ付外部ニ漏洩セシ様注意アリタリ

0344

當日午情報ヲ得

芝罘野島ハ佐奈

一、午後十時三十分受信

只今大連來電 離島ニ我兵第五師ハ支那兵ト衝突  
シ強ト全滅サレタト真否問在中

二、蓋土所ニ五分受信

我兵離島ニ支那兵ト衝突ノ報ヲ聞キ直ニ當地觀  
察使及鐵甲使ニ聞キ合セシ處更ニ何等ノ報ナシ事實  
無根ナリト返リ尚南方面ニ面合セ中

十月九日 金曜日

當日午情報ヲ得

芝罘野島海軍ハ佐奈

0345

一、午前十一時五分受信

昨夜報告せし我兵離縣より支那兵ト衝突ニ付、今湖南  
より昨夜迄湖南ニ我兵ニ離縣より何等報せしアリ  
又當地支那官憲ニ亦何等ノ通知ナレ故ニ株屋作  
リニ捏造ノ説ト認ム

二、午後四時十五分受信

湖南來電今朝迄淮縣湖南間異状ナシ、日支兵  
衝突ハ全ク虚傳ナリ、湖南より我兵ノ鹵獲セシ機油  
車ニ貨車及客車ハ三ノ機油車ノ機城要部ハ  
獨逸人取升シ獨逸銀行ニ持去リ使用出来ス  
博山ノ訖山ハ未タ占領セズ、中爲メ第一師大隊ヲ  
淮縣湖南左線シ中綏シ湖南ニ、西川隊アリ

三、午後三時五分受信

0346

本日即墨ヲ歸リシモノ談

一敵ハ所々ニテ十字旗ヲ建テ居レリ我飛行機爆彈投

下ラシキル爲メ監用セルモノナリ

二芋畑茄子畑ニ中ス地溜アリ甚憂ニ結メ爆弾ヲ装置

ナリ

三即墨城外ニ賑合ハイ居ルモ城内ニ今商店ヲ閉

居頑迷ノ後多シ

四九月末<sup>豫陽南</sup>萊州南十清里ニ約十名ノ土匪現ル又本月四

日土匪現ル人民ノ警戒最重ナリ

四(午後九時受信)

南南來電昨日迄我軍兵百三衛生部及鉄道隊子西知

着其規律嚴肅ヲ極メ其行動鐵道ノ外ニ出ス

南南ノ官民皆安堵ナリ今迄ヨリ通用セル獨逸貨

弊ハ信用ヲ失ヒ大日本報債ヲ救恤スルヲ冀メテ邦  
人ノ意僞ハ信用ヲ失ヒ我ニ及セサルヲ知ル足ル

十月十日 土曜日

當日ナリ情報ヲ得

芝罘郵船海軍タル佐藤一チ伯入所ヨリ分受信  
南南米電同地ノ独逸人等ハ張ニテ邦人ヲ使ツテ我國獲セ  
ル極軍事破壊ヲ企テツアリ昨日彼等ガ匿ニ居ル極城ノ  
一部ヲ手ニ入レ漸クニ台張者迄ノ通ヒ得ルニ至リシカ昨夜我  
監督ノ不備ニ氣シテ邦人ニボーラーノ水ヲ投キ去ラレ  
運轉出来ス明日ヨリ張右迄運轉ノ豫定

十月十日

日曜日

0348



記事ナシ

十月十二日 月曜日

威海衛駐在義兵隊海軍少佐帰朝人余ヲ受ケ候船次所出港ノ  
際定止旨同氏ヨリ来電アリ

當日情報ヲ得

芝罘野島海軍少佐祭

一十年前土時甲午後迄

一南南獨逸領事ハ新將軍面ヒ日本兵ノ迫害ヲ防  
ク爲メ在留独逸人ヲ支那兵ヲ保護アリタルト交際  
セシメ日本兵ハ独逸人以外ニ出テヤト其要ナド拒絶シ  
目下同地ニ在ル独逸人強計甲午右我國獲也此  
車列車ハ大ケ張右迄往來シツアリ

0349

六、南巡按使より當地吳觀察使へ本年山東縣道向  
鹽田満ち解決を故國際ノ礼儀ヲ尊ビ又人心ノ  
動搖ヲ防ク爲メ新開成ニハ正確ナルノ外櫻  
ニ謹言又ハ煙監説ヲ記載セシムヘカラストノ余  
全末リ

二、午後九時受信

海南南米電囀ニ高キ博山炭鑛破壊ニ見説ハ  
事實ニアラサカカシ

0350

十月十三日

火曜日

午後九時四十五分第二艦隊参謀長ヨリ辦天九十四日正午  
山崎發旅順ニ回航セシム可成速ニ清水ヲ滿載セシメラシ度旨  
電報ニ接ス

十月十四日

水曜日

當日五ノ情報ヲ得

芝罘野島少佐發

一(午前三時十分受信)

本日即墨故來者ノ談

一即墨ニハ軍票使用ノ為ノ是迄同地ノ通貨タリシ銅  
貨流出シテ銀貨ニ非常ニ恐慌ヲ來セリ之ガ救済ノ為  
支那側ニテハ八日香港總督ノ依命、兩江ノ各縣ヨリ一時同  
地ニ銅貨ヲ供給シ又一方外人ハ軍ノ許可ヲ得テ十萬兩

0351

ノ特々行キ不日軍票ト引換ニ應スル事トナレリ

二即墨ニハ一切邦人ノ居住ヲ許サル、タノ浮浪ノ邦人三百餘名

附近ノ村落ニ潜伏シ、城ノ期ヲ待ツツアリ

三萊陽ニハ二名ノ獨逸宣教師アリ、我軍敗戦ノ虚報ヲ傳ヘツアリ

二(午後八時三十五分受信)

本日ヨリ濟南青洲間ハ汽車毎日往復、我軍ノ差支ナシト認ム者ト

一般ニ便条ヲ許ス六日、インゴリニアル米國宣教師ニ煽動サレ信

徒タル一支邦人ハ、インゴリニテ我軍用電線ヲ切斷セシガ捕ハ

ラシ目下萊州ニ護送、艦禁中彼ハ最初軍ニ神ノ命ナリト強

セシモ、遂ニ宣教師ノ煽動ナル旨白狀セリト云フ

十月十五日 木曜日

午後一時十五分第二艦隊參謀長ヨリ西表特設望樓沖ヲ通過セ  
 艦艇ニ對シ萬一ヲ顧慮シ第二艦隊ハ本日ヨリ全軍警

0352

戒配備ニ就カシノ陸海軍運送船ノ取地級港モ見合ハサシメ居ル  
旨電報ニ接シタルモ其ノ情報詳ナラズ依テ直々ニ其ノ詳細過  
報アリ度旨電報セシメ一方五大連海務局ニ對シ警告電ヲ  
發セシム

午後五時三十五分海軍々令部次長ヨリ威海衛駐在兼坂海軍  
少佐級朝ヲ命セラレタル旨電報ニ接ス

午後九時十分海軍大臣ヨリ宇佐川東宮武官ヲ青島港方面ニ  
差遣ハサル旨其ノ勅ヨリ通報アリ同官發着日時ニ直接通知  
スル旨ナル旨電報ニ接ス

午後四時十五分海軍々令部次長ヨリ芝罘駐在野島海軍少佐  
級朝ヲ命セラレタル旨電報ニ接ス

十月十六日 金曜日

午前十一時八分第二艦隊參謀長ヨリ今夜中異狀ナケレバ明日ヨリ

0353

警戒配備ヲ復旧シ運送船ヲ出發セシムル豫定ナル旨電報ニ接シ  
此旨海務局ニ通報セシム

同日兼坂海軍少佐威海衛ヨリ來着連ニ上京ス

辦天丸入港ス

當日左ノ情報ヲ得

芝罘野島海軍少佐發電

一(午前三時受信)

一 濰縣ノ西約七哩ノ地ニ在ル鐵橋外濰縣濟南間鐵道ノ修理完成シ  
濰縣濟南間方ヨリ此鉄橋迄毎日汽車運轉連絡ス各鉄橋モ不日  
修理完成ノ豫定濰縣以東ノ濰河ノ鉄橋ハ修理ニ當ル四月ヲ要  
スルモ兎ニ角今月末日迄ニ黃州迄全通スル見込

二本日午後二時季村ヨリ當地ニ來リ居リシ支那人十名一七頭ノ驢  
馬ニ食糧品ヲ積ミ陸路南下セリ青島密輸入ノ疑ヒアリ被害

ハ密偵ニ今南支出口附近ヨリ青島ニ密輸入行ヒツキアリト語セリ  
小官ハ本日板朝ノ電命ヲ受テ出發時ヨリ後報ス

二(午後零時十分受信)

武陸軍ハ山東鉄道沿線ノ警備を擁護シテ入ルニカ爲メ現在  
該鉄道沿線ニアル支那巡警ト衝突ノ恐アル爲メ撤去サレタリト  
交渉セシメ濟南支那官憲ハ之ヲ決諾セシモ之以上我軍備兵ヲ  
増加スル様希望セリ

十月十七日 土曜日

午後零時四十分宇佐川東宮武官ヨリ来ルニ十五日午前武洲九ニテ  
青島方面若ク豫定ナル者電報ニ接ス

十月十八日 日曜日

午後零時五十分海軍々令部長ヨリ左電報ヲ受信ス

大連機密第一三三號 署名ニ關山進附海軍機密ニシテ第一機密

0355

司令長官及第十砲台場司令官ト協議ノ上ニシテ撤收スベシ  
〔高千穂爆沈ニ関シ當無線電信所傍受左ノ如シ〕

一 午前三時五分 利根 ↓ 周防

一時五分地点——地点——トノ空中同一大火光ヲ認め同時ニ

爆撃ヲ聞キニヨリ哨艇ニ就キ追ヒテ高千穂ノ外訖シト異狀ナキ

ヲ報ス高千穂ヲ呼フモ應メス我今右地点ニヤミツアリ高千穂ノ夜

間哨巡ハ地点……………(環信ノ為ニ受待哨巡ナラヌ)

二 午前八時十分 利根 ↓ 周防

敵ノ駆逐艦上海ニ逃走シタルヤモ知レバ飛艇發隊ヲ追撃ヲ覺束ナケ

レバ利根ヲ今ヨリ追テ追撃揚子江口ニ敵ヲ折シテハ如何意見

撰出ス

三 午前八時十分 利根 ↓ 周防

今ヤ故高千穂艦長ノ死骸ヲ收容ス

0356



四、午前九時二十分 周防→利根

〆〆〆、所立不明ナリ依テ哨区ニ在ル駆逐隊一隊ヲ以テ速ニ靈  
山ヨリ海洲ニ至リ沿岸ノ村落ヲ偵察セシムベシ同駆逐隊トノ通信  
連絡ヲ確實ニセヨ哨区ニハ他ノ駆逐艦ヲ配セヨ

五、午前十時 周防→利根

駆逐艦ニ隻ヲ以テ直ニ當地ヨリ北方豪城湾ニ至リ沿岸ノ村落  
ヲ偵察セシムベシ

六、午前十一時四十五分 利根→周防

高十穂沈没ノ原因ニ就キ生存者ノ言ニヨリ、OS 哨区ヲハ  
節ニテ航行シ哨戒中突然右舷前方近距離ニ煙突ノ敵駆逐艦  
ヲ発見敵ヲ砲撃スルノ暇ナシ敵ハ既ニ約三十米突ニ及航攻薄  
シ高十穂ノ右舷側ニ対シ二個ノ魚雷ヲ発射セリ第一魚雷ハ  
五番砲下ニ命中スルヤ艦ハ忽チ前部ヨリ沈没ヲ始メ約一分間ニテ

0357

全ノ沈没セリト云フ員傷者九ノ如シ

一等兵曹小松清太郎、一等兵見島増藏、三等兵安部辰藏、――

以下混信

七、午後零時三十分 周防――午軍島

軍令部長ハ二隊機密第三三號噴、戒勤務中ノ高千穂ハ十八日午  
前一時三十分大公島ノ南九度西ニ於テ爆沈セリ午前七時迄ニ燒燬ニテ  
收容セシ高千穂乗員下士一卒ニノミナリ原因取調中尙聯合  
掃海隊編入中ノ高千穂汽船ノ乗員残りアリ艦長ノ死骸ヲ收  
容セリ委細後報

十八日第二艦隊司令長官

八、午後零時三十分 周防――利根

南方ニ向ケ出發セル索敵トシ駆逐隊ハ我島(島)神ニ至ルモ異  
状ナキトハ其後ニ復スルハ更ニ揚子江口附近迄搜索セシメヨ

0358

九、午後四時三十分 周防→佐々保

軍令部長ハ二機機密報第三四號生存者ノ言ニヨリハ高千穂  
ハ航行中突然右舷前方ヨリ敵ノ駆逐艦ノ反航艦攻撃ヲ受ケ  
真魚形水雷二発ノ一発五番砲下ニ命中燬時ニミテ艦首ヨ  
リ沈没セリト其ノ後只今迄收容セル生存者ナシ

十八日午後四時第二艦隊司令長官

一、警戒ヲ嚴シテ特ニ燈火ノ漏洩ナキ様情ニ即時砲撃ヲ準備スル  
ヲ要ス

十月十九日 月曜日

午前六時三十分 天竺洲灣方面ニ出港ス

午前十時十五分 氣象局ヨリ低気壓南京附近北東ニ進む今日  
山東黃海風雨強カシ明日ハ連日吉龍報ニ接シ又ハ第二艦隊

三轉電

0359

高千穂爆沈ノ聞ニ當無線電信所ニ於ケル傳受ヲ如シ

一、午前一時三十分

周防→

アミダ

高千穂沈没ノ原因ハ生存者ニ付直接面詢ツル迄疑ハ存シ

原因尙不明ナリ右陸軍ニ傳ヘ 第二艦隊參謀長

二、午前八時三十分

周防→

各艦

見當ラストノ電アリ各艦ハ一層警戒ヲ

嚴シセリ

三、午後三時

周防→

朝汐

朝汐村而ハ東城湾ヨリ其果ニ至リ湾内ヲ偵察シ敵ヲ發

見セザレバ更ニ廟島列島ヲ偵察シ終ラハ旅順港ニ至リ

炭水補充ノ上級ハ旅順港ヨリ概況ヲ報告セリ

十月廿四

火曜日

午後零時四十五分第二艦隊司令長官ヨリ左ノ電報ヲ受領ス

0360

南方搜索ノ為メ派遣セル駆逐艦子、日外一隻ハ二十日朝  
前部ヲ爆發シ石血所海岸ニ擱坐セルヲ發見シ捕獲隊員ニテ  
処分中 二十日午前十時

午後四時氣象局ヨリ亞比利亞氣壓高ハ山東黃海方面北西  
モンスン明日モ強キ旨電報ニ接シ之ヲ第二艦隊ニ轉電セシム  
當日左ノ情報ヲ得

山東野島油庫ガ被襲

(午後三時八分)

以前放ト置キシ同艦ヨリ報告本月十日ノ敵情報告

一第一機橋ヨリ電線ヲ防航海船渠ニ作場ニ導キ何時ニテ爆撃  
準備完成

二敵ノ砲彈ハ無數ニアリ

三瀋陽海岸ノ通路ハモントケ山ノ麓ヲ除キ他ニハ何等ノ防禦  
物ナシ

0361

四 沿山端、青島市街、海岸、道路、至防禦物ナシ

五 五ノト「山下、火藥庫、空虚ナリ、故飛行機三台、取使南

シ、徳ルハ一、台ノミ、他ハナシ

故、多、数、ノ、爆、薬、ヲ、製、シ、ツ、ア、リ

支那人、獨、探、多、数、飛、機、降、地、附近、アリ、チ、巧、ニ、飛、行、動、シ、故、

通、シ、我、大、害、ヲ、與、ヘ、ソ、ナ、リ

十月一日 水曜日

午後八時、第二編隊、参謀長ヨリ、勅、潮、ハ、既、ニ、戰、地、ニ、取、着、セ、ル、者、電、報、アリ

當日左ノ情報ヲ得

艾果松本副領事發 (午後一時五十分受信)

在青島、米、國、領、事、ハ、獨、逸、婦、人、二、名、着、護、婦、一、名、支、那、人、二、名、ト、共、ニ、十、月

二十日、濟、南、着、米、國、領、事、ハ、日、本、天、皇、陛、下、ノ、聖、音、青、島、ニ、傳、ヘ、ル、

ヤ、孰、シ、モ、感、激、ニ、堪、ヘ、サ、リ、シ、ト、云、ヘ、リ、着、護、婦、ノ、談、ニ、依、リ、ハ、當、地、疾、疫、ノ、

0362

外水交社、學校、ホテル等ハ仮病院トナリ患者ヲク中ニ日本士  
 官一名卒ニ名アリ獨逸婦人等三十餘名トハ併死セリ此等モ自今  
 等ト來ラセントセシモ其ノ救助ヨリ戻城モ遠カラズ日本兵入交ムトモ  
 乱暴スルモノニアラサレバ暫ク踏止マル様諭慰セラレシト云フ  
 博山炭坑ヨリ來リテ者ノ談ニヨリハ當炭坑ハ破壊セル模様ナレト  
 浸水多ク坑内ニ不明一ト折機城ニ損害アリト云フ  
 野島少佐ヨリ軍令部長へ轉電閣下ニ御依頼ス

十月廿二日 水曜日

十月廿三日 金曜日

十月廿四日 土曜日

午後四時氣象局ヨリ左ノ電ヲ第二艦隊ニ轉電ス

低氣壓黃海西部北東ニ進ム今日暴風雨明日北西モ云々強クナル

十月廿五日 日曜日

一ル

0363

十月廿六日 月曜日

午後三時五十分氣象局ヨリノ電ヲ第二艦隊ニ轉電ス  
明日山東黃海北西モンスン強クナル

當日五ノ通報ヲ得

山東都督府陸軍參謀長ヨリ

山東鐵道警備ノ旅團司令部及歩兵二大隊(二中隊缺)ヲ二十六日  
出發攻城ニ参加セシメ殘餘ヲ大坂大佐ノ指揮ニ屬シ山東鐵道  
警備隊トス

十月廿七日 火曜日

午後二時十五分海軍大臣ヨリ五ノ電報ヲ受領ス

爾今第二南遣枝隊ノ各軍艦ハ特ニ警戒ノ為ノ行動スル場合  
ニ限リ第一種炭ヲ使用スル儀ト心得ヘシ

0364



十月十八日

水曜日

午後三時五十分氣象局より、五ノ電ヲ第二艦隊ニ轉電ス  
低氣壓黃海ニアリ東ニ進ム山東方面今夜ヨリ北西モンスン強シ

十月十九日

木曜日

十月三十日

金曜日

當日左ノ通報ヲ得

關東都督府陸軍參謀長ヨリ

第十八師團ハ二十九日ヨリ

概シ四方四房山（西方東方高地）東

界家村（東界西家村東北端名部落）田家村辛家庄ノ線ニ以テ

ヲ觀望シ野砲兵重砲兵ハ三十一日拂曉砲撃開始ノ予定

0365